

Minami Kyushu University Syllabus

[illegible]

授業計画 【第11回】	版画制作：コラグラフ2 ・コラージュ～印刷、インク、ローラーの扱い方、プレス機を使って
授業計画 【第12回】	版画制作：コラグラフ3 完成へ ・印刷、インク、ローラーの扱い方、プレス機を使って
授業計画 【第13回】	共同制作（コラージュ制作）1 グループで創作、図柄を決める
授業計画 【第14回】	共同制作（コラージュ制作）2 台紙に紙を貼りこむ
授業計画 【第15回】	作品完成、展示、鑑賞会、演習のまとめ、レポート準備
授業の到達目標	・幼児期、児童期の造形表現の理解と、指導上の観察力と援助力を身に着ける。 ・演習を通して発想力、創作力を高め、授業現場で子どもの理解と指導力の向上を図る。 ・イメージから実際の作品に具体化していくことで、教育現場で身に着けた力を発揮できる技術を磨く。
学位授与の方針 (DP) との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	これまで経験した図画工作の内容を想起する。 小学校時代に使用した教科書等を見返す。 道具、材料を確保する。 身近なものをデッサンする。(約1時間程度)
授業時間外学習【復習】	学修した技法などを使い、実際に創作してみる。 身近なものをデッサンする。(約1時間程度)
課題に対する フィードバック	アイデアスケッチからの取り組みの流れを重視する。グループ制作では個人の参加の在り方を実践評価とし個人評価に組み込む。
評価方法・基準	実技課題への取り組み、課題提出の評価、レポートや提出物の採点によって評価 授業中の参加態度40%、提出課題30%、実践レポート30%とする。
テキスト	テキストは使用しないが、必要に応じて参考となる資料を提示する。
参考書	参考資料は抜粋要約してプリントを配布する。 ・『幼稚園教育要領』：文部科学省 『保育所保育指針』：厚生労働省 ・小学校学習指導要領解説 図画工作編：文部科学省
備考	※実技演習ができる服装が望ましい。(準備内容については、事前に予告する。)